

わが校自慢

篠津中学校

7月下旬、本校の暑い夏も終わりました。県大会に出場しました軟式テニス男子、バレーボール女子、剣道男子は、部員たちの持てる力を精一杯発揮してくれました。応援する者にも大きな感動とさわやかな癒しを与えてくれた生徒たちに感謝するばかりです。

本校にはバスケットボール男女部をはじめとして運動部が9部、美術部をはじめとして文化部が5部あります。監督・コーチには本校の教員が原則としてあっておりますが、地域の16名のかたにボランティアとして参加していただいております。このようなスムーズな地域密着型の部活動は、他に類例を見ないものです。

平成4年度には剣道女子が県大会優勝、翌5年には準優勝。平成12年にはバスケットボール男子が春の学徒大会準優勝、県民体育大会優勝。近年はバレーボール女子、剣道部が常に県大会出場と大活躍しています。

また、文化部も文芸部が平成12年にNHK基礎英語スキットコンテストで全国最優秀賞、翌年優秀賞を受賞、吹奏楽部は平成15年度に県大会出場、今年度は埼玉大会金賞と頑張っています。このような活躍の背景には、部活動に入っている生徒の保護者による部活動後援会の支援があります。

これからも、地域のボランティアコーチの力を借り、また保護者による部活動後援会の援助も得て、生徒の部活動をさらに活発にしていきたいと考えています。



白岡の古道をゆくvol.6-

日光御成道 と 日光社参

ふるさと

白岡紀行

町の東部を通過する県道岩槻幸手線は、かつての日光御成道です。日光御成道は江戸時代、徳川家康を祀った日光東照宮へ將軍家が参詣＝「御成」するために、中世の鎌倉街道中道（5月号参照）を整備した道であることはよく知られています。



御成道風景（一里塚付近）

將軍家の日光への参詣（日光社参）は18回を数え、3代家光が10回と大半を占めます。社参は当初は質素でしたが、東照宮が現在のように改築された寛永13年（1636）以降は家臣・大名を従え華美盛大になり、幕府の権威を示す一大イベントとなりました。8代吉宗の社参（享保13年、1728）では22万人もの驚くべき人員が同行しています。反面、社参は幕府財政を疲弊させ、最後の12代家慶の社参（天保14年、1843）は15万人にとどまっています。

日光社参は、沿道農民にとってはさらに過大な負担となりました。社参の数ヶ月前から多数の人員が徴用され、道に幅2間（3.6m）、厚さ5寸（6cm）の砂を敷くこと、沿道2～3町（2～300m）以内の藪・林の切り落とし、不審者防止のため横道の締切り、沿道の作物を御成道に直角に蒔き付けることなどが命じられました。また社参の際にも人馬の提供を強いられました。

下野田地区にある一里塚や杉並木の名残りが、御成道の光と陰を今に伝えています。



杉並木の名残り

